

2025年12月24日(水) 神戸新聞(朝刊) より

日ノ本学園高校(姫路市香寺町香呂)のチャペルで、クリスマス礼拝が行われた。キリスト教主義教育を実践する同校の毎年恒例の行事で、全校生徒約590人が参加。ハンドベルの演奏や合唱が披露され、会場は厳かな空気に包まれた。礼拝では、3年生ら約40人によるイエス・キリストの降誕劇が上演された。聖母マリアのもとを訪れる天使役を新体操部員3人が演じ、しなやかな身のこなしで躍动感あふれる踊りを見せた。



県内高校別の
特設ページは
こちら

(船田翔太)

ハンドベル演奏があったほか、「もうびと」ぞりてや「きよしこの夜」など、クリスマスにちなんだ贊美歌を全校生徒が合唱し、莊厳な雰囲気を一層高めた。会場には生徒の家族らも招かれ、辻本茉凜さん(21)は降誕劇でヨセフ役を演じた妹の莉音さん(18)を見守った。「ハンドベルの音色が美しく、チャペルで聞く合唱は趣きがあった」と感激した様子だった。

ハンドベルや合唱 クリスマス祝う 日ノ本学園高 キリスト降誕劇も



生徒により上演されたイエス・キリスト降誕劇=姫路市香寺町香呂